

図脳 Century2D 2026 Viewer 基本機能マニュアル

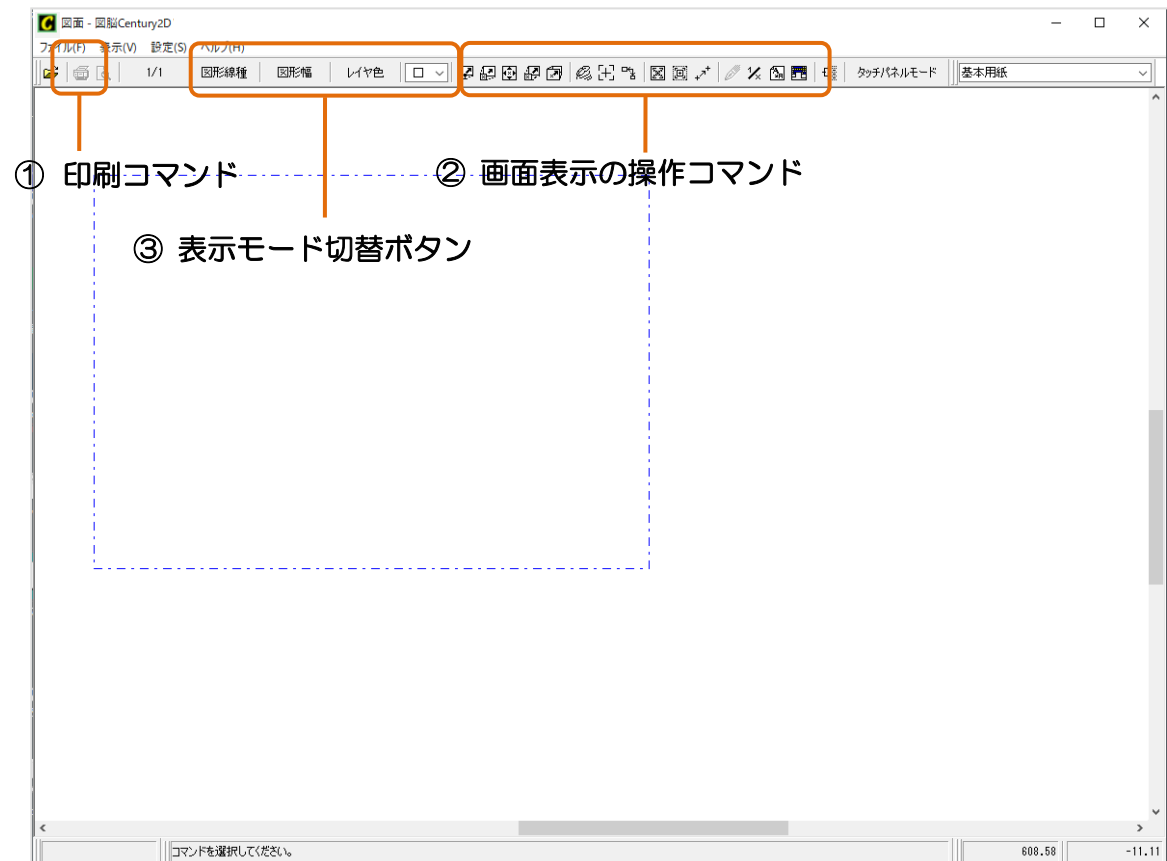
注意:

本 Viewer で開ける図面は図脳 Century2D 2025 以降で作成された ZSDX 形式および ZSDXZ 形式のみです。
Ver.12D 以前の図脳 Century2D や、その他の CAD ソフトで作成した図面は開けません。

ショートカットアイコン又はスタートメニューから「図脳 Century12DView」を指定して「図脳 Century2D 2026 Viewer」を起動します。



「図脳 Century2D 2026 Viewer」を起動すると、次のような画面が表示されます。
ここでは、代表的な機能の概要を説明します。




1.1 図面を印刷する

作成した図面を印刷してみましょう。
印刷する前に、印刷の向きやサイズを設定してから印刷します。



1.1.1 プリンタの用紙サイズ・向きを設定する

[ファイル]-[プリンタ設定]コマンドをクリックします。

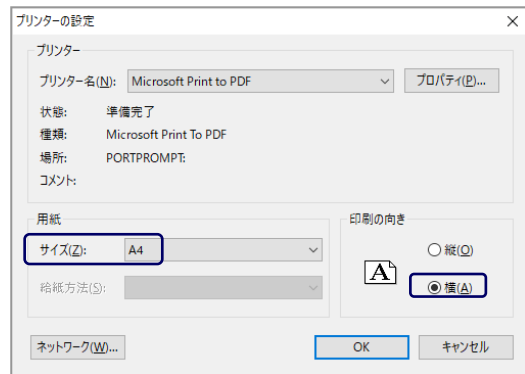
右のようなダイアログボックスが表示されます。

[プリンタ名]の一覧より印刷するプリンタを選択します。


[サイズ]の一覧より[A4]を選択します。

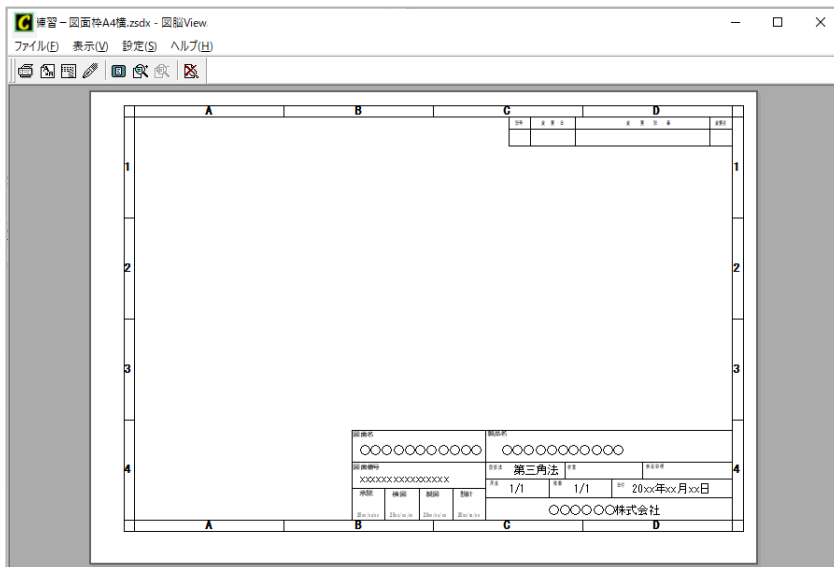
[印刷の向き]欄で[横]を選択します。

[OK]ボタンを押します。

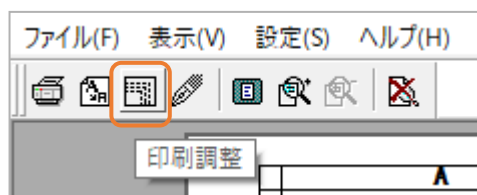


1.1.2 プレビューで確認する

1. [ファイル]-[印刷プレビュー]コマンドをクリックします。次のようなウィンドウが表示されます。



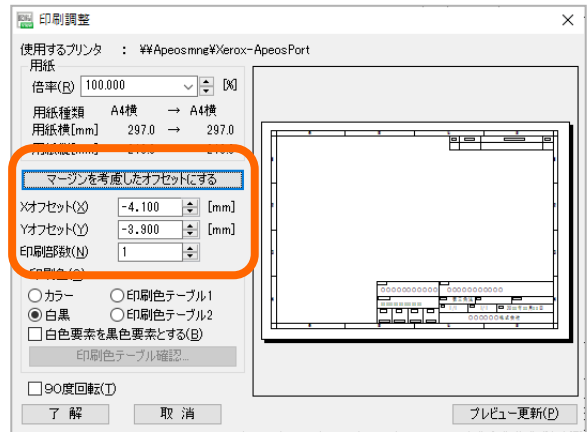
2. [印刷調整]ボタンを押します。



右のようなダイアログボックスが表示されます。
[マージンを考慮したオフセットにする]ボタンを押します。

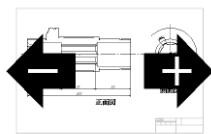
[X オフセット]、[Y オフセット]に、プリンタドライバから取得した値が自動入力されます。

[了解]ボタンを押して[印刷調整]ダイアログボックスを閉じます。

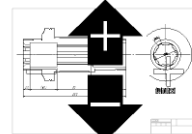


補足

[X オフセット]、[Y オフセット]に値を入力すると、次のように印刷位置を移動します。



Xオフセット



Yオフセット

3. [閉じる]ボタンを押してプレビュー画面を閉じます。

直接[ファイル]-[印刷]コマンドのダイアログボックスを表示したい場合は、[印刷]ボタンを押します。

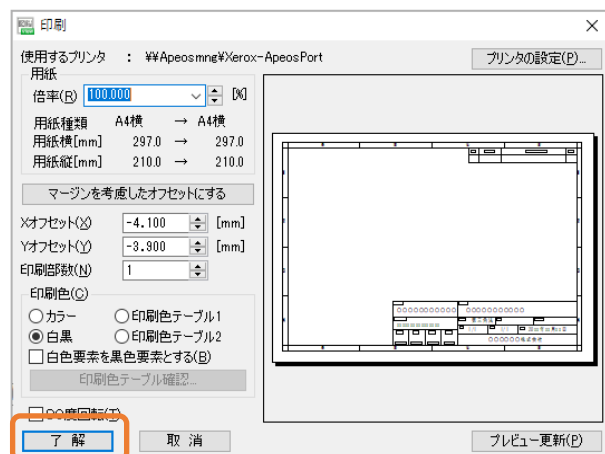


1.1.3 印刷する

[ファイル]-[印刷]コマンドをクリックします。

右のようなダイアログボックスが表示されます。

[了解]ボタンを押して、印刷処理を実行します。




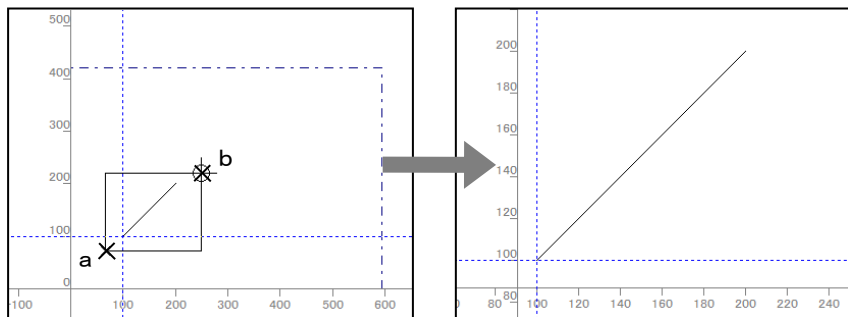
1.2 画面表示の操作方法



1.2.1 範囲を指定して拡大する


指定した領域を作図エリアいっぱいに表示します。

1. [表示]-[範囲拡大]コマンドをクリックします。
2. [メッセージバー]に「領域の 1 点目を指示してください。」と表示されます。点(a)付近をクリックします。
3. [メッセージバー]に「領域の対角点を指示してください。」と表示されます。点(b)付近をクリックします。指定した領域を拡大して表示します。




1.2.2 用紙全体を表示する

図面全体を表示します。

[表示]-[基準画面]コマンドをクリックします。用紙全体が表示されます。

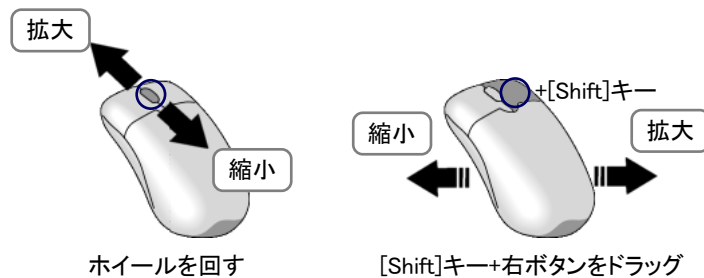
補足

用紙枠外にある図形も含めて全体を表示したい場合は、[表示]-[全体表示]コマンドを使用してください。

1.2.3 表示を拡大/縮小する

マウスのホイールを上下に回すと拡大/縮小表示します。

[Shift]キーを押しながらマウスの右ボタンを押して左右にドラッグすると、リアルタイムに拡大/縮小表示します。



補足

キーボードで操作する場合は次のキーを入力します。
[PageDown]キー: 拡大 [PageUp]キー: 縮小

[Shift]キーを押しながらこれらのキーを押すと「高速ズーム」が行えます。
表示倍率の設定は[表示]-[表示設定]コマンドの[オプション(画面)]で設定します。

補足

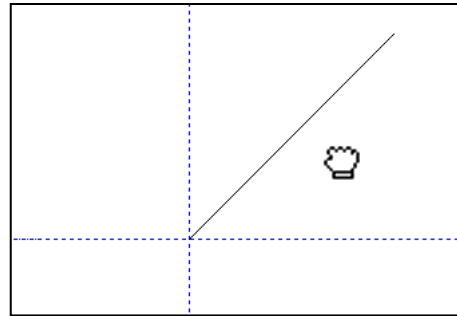
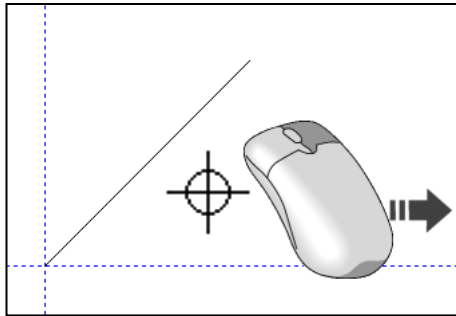
ホイールの拡大/縮小動作は[設定]-[環境設定]コマンドの[操作]-[マウス動作]で設定します。

補足

ホイールを回すと表示が上下に移動してしまう場合は、マウスドライバ側の設定をご確認ください。
ホイールの動作を設定する箇所、本プログラム使用時にホイールを回す際はスクロール(上下に移動)しないように設定を変更してください。

1.2.4 表示を移動する

マウスの右ボタンをドラッグすると、表示位置を移動します。



補足

キーボードで操作する場合は次のキーを入力します。
[↑]キー: 上移動 [↓]キー: 下移動
[←]キー: 左移動 [→]キー: 右移動

[Shift]キーを押しながら上記のキーを押すと「高速移動」が行えます。移動量の設定は[表示]-[表示設定]コマンドの[オプション(画面)]で設定します。


1.3 表示モードの切り替え

読み込んだ図面において、図形の線色・線種・幅の表示モードを「レイヤモード」と「図形モード」の切替えを行えます。
図面を作成された時の設定によって、モードを切り替えることによって、より見やすい図面を表示することができます。

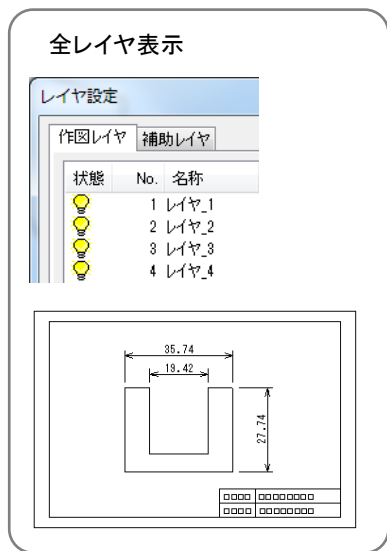
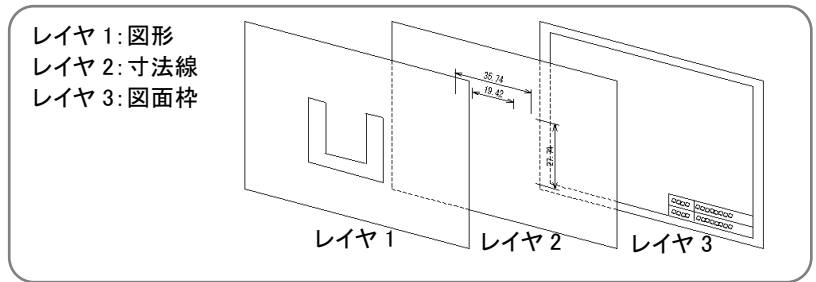
補足

レイヤとは

「レイヤ」とは、図面を階層構造に分類することができる機能です。
各層ごとに図形を描き、これを合成したものが図面となります。
つまり透明なフィルムのようなもので、それらを何層にも重ね合わせたものをレイヤといいます。

「レイヤ」の切り替えは、[設定]－[レイヤ設定]コマンドをクリックして「レイヤ設定」ダイアログで切り替えることができます。

次のように寸法線や図形線を別のレイヤで作図されている図面において、図形だけを印刷したい場合に、寸法線のレイヤを非表示にすることで簡単に図形のみ印刷できます。






1.3.1 表示色の表示モード切り替え

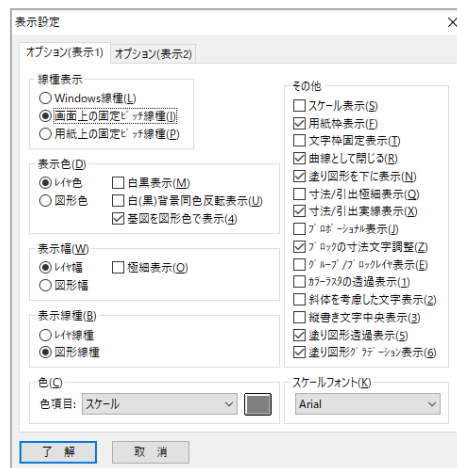
図形の表示色の表示モードを「レイヤ色モード」と「図形色モード」に切り替えます。

補足

「レイヤ色モード」と「図形色モード」の違いとは？

レイヤ色モード レイヤ色	[設定]-[レイヤ設定]で設定されているレイヤ毎の色で表示します。
図形色モード 図形色	図形毎に設定されている属性色で表示します。

1. [設定]-[表示設定]コマンドをクリックします。
2. 右のようなダイアログボックスが表示されます。示色の欄にて、[レイヤ色]もしくは、[図形色]をクリックして表示したい表示モードを指定します。



[表
クリッ


1.3.2 表示幅の表示モード切り替え

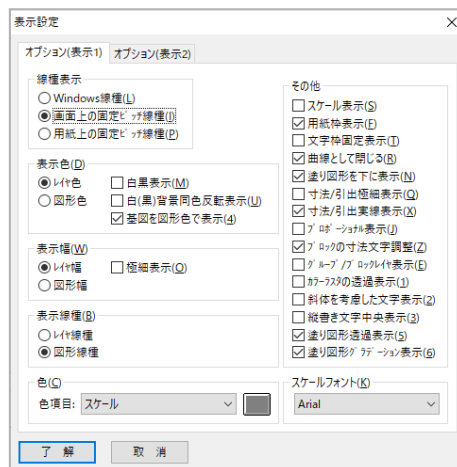
図形の表示幅の表示モードを「レイヤ幅モード」と「図形幅モード」に切り替えます。

補足

「レイヤ幅モード」と「図形幅モード」の違いとは？

レイヤ幅モード レイヤ幅	[設定]-[レイヤ設定]で設定されているレイヤ毎の線幅で表示します。
図形幅モード 図形幅	図形毎に設定されている属性線幅で表示します。

1. [設定]-[表示設定]コマンドをクリックします。
2. 右のようなダイアログボックスが表示されます。
[表示幅]の欄にて、[レイヤ幅]もしくは、[図形幅]
をクリックして表示したい表示モードを指定しま
す。



1.3.3 表示線種の表示モード切り替え

図形の表示線種の表示モードを「レイヤ線種モード」と「図形線種モード」に切り替えます。

補足

「レイヤ線種モード」と「図形線種モード」の違いとは？

レイヤ線種モード


レイヤ線種

[設定]-[レイヤ設定]で設定されているレイヤ毎の線種
で表示します。

図形線種モード

図形線種

図形毎に設定されている属性線種で表示します。

1. [設定]-[表示設定]コマンドをクリックします。
2. 右のようなダイアログボックスが表示されます。
[表示線種]の欄にて、[レイヤ線種]もしくは、[図
形線種]をクリックして表示したい表示モードを指
定します。

